

岸連合自治会・岸地区福祉協議会
〒258-0112 足柄上郡山北町岸2061
発行責任者 渡辺 良孝
編集責任者 茂木 昇

岸地区を歩く《岩流瀬と大口の文命碑と祭り》

【両岸で一対の岩流瀬と大口の文命社】

毎年5月5日、岩流瀬と福沢神社(大口)で文命祭が行われます。両社は酒匂川を護る一対の社として祀られました。江戸時代の將軍吉宗の時です。



西堤文命社（岩流瀬）

【文命西堤碑(岩流瀬堤)の碑文】(要約)

- ・岩流瀬堤と大口堤の呼名を「文命堤」に改める
- ・文命(禹王)と工事経過は東堤碑に詳しく書いた
- ・幕府の下賜金20両を祭祀の資金に充てること
- ・堤に桃李梨栗を植樹し土石を運び補修すること
- ・祭祀を怠らず、このことを後世に伝えること



文命祭(今年5月5日 岩流瀬)

【田中丘隅が治水を願い後世に遺したこと】

田中丘隅は、村々に水防組合を作り、堤を踏み固める方法として、果樹の植樹と4月1日の土石を持った参拝など、決壊への備えを遺しました。前148号の「川丈6地蔵」も、同じく祀られました。

田中丘隅は2年後の5月5日、東西文命社を訪れていますが、祭礼日の変更との関係は不明です。岸連合自治会は今年295年目の文命祭を行い、今も酒匂川と共に生きる歴史を語り継いでいます。

〔参考文献：山北町史 市史研究あしがら 等〕

【將軍吉宗が命じた酒匂川の治水と文命社】

1707年(宝永4年)の富士山大噴火で酒匂川が氾濫し、足柄平野は人の住めぬ荒地と化します。怒田の山地に残る班目等の飛地は、避難先の跡です。

小田原藩は、被害が甚大なため領地を幕府に返上しました。8代将軍・徳川吉宗は、町奉行・大岡越前守を通じて田中丘隅に復旧を命じ、1726年(享保11年)5月25日に工事は完成します。この日に岩流瀬と大口の文命社に文命宮と碑が建立され、8月には大岡越前守が堤と文命社を視察しています。

碑文は田中丘隅が起案し、大岡越前守と將軍吉宗が見聞して、儒学者の荻生徂徠が添削しました。



東堤文命社(大口福沢神社)

【文命東堤碑(大口堤)の碑文】(西堤碑との重複を省略)

- ・酒匂川の治水工事を幕府が行ったこと
 - ・文命(禹王)を祀り、4月1日を祭祀とする
 - ・幕府の下賜金百両を資金に祭祀を怠らないこと
 - ・元号平成の出典の書経「地平天成」の字句がある
- ④「文命」とは、古代中国の夏の王・禹の別名で、生涯を治水に尽くしたことから水神として祀られた。



東光院に咲いている御衣黄桜(ギヨイコウザクラ)です。ソメイヨシノが散った後、4月中旬～下旬に咲く桜です。開花したばかりの花は淡い緑色、徐々に黄色に変化していく、やがて花びらの中心部が赤く染まっていくのが特徴です。「御衣」とは、貴族の着物のことを意味します。緑色の花びらが、平安時代の貴族の衣服の「萌黄色」に近いことが由来だそうです。ピンクの桜以外を楽しみたい方におすすめです。

八幡神社例大祭

例年、4月第1日曜日（今年は4月4日）に行われている例大祭が、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、神輿と花車の渡御（とぎょ）は、昨年に続き中止となりました。

当日は、総代、連合自治会、各自治会長、神輿会、囃子保存会の代表が参加して、神事が行われました。

神輿の掛け声やお囃子も聞こえない、寂しい例大祭となり、毎年楽しみにしている皆様には大変残念な思いでしたが、コロナ禍の早い終息を願い、来年の盛大な開催を祈願しました。



お神輿修繕完了お披露目

長年の使用に耐えてきたお神輿が、芯柱が折損し、昨年の例大祭の中止により、地域の方々の寄付を受けて、1年間の修繕が行われていました。

この程、東京浅草の宮本卯之助商店での修繕が完了し、八幡神社に引き渡しが行われました。

4月4日（日）の例大祭神事の後に、八幡神社本殿前で神輿の清め祓いが行われ、境内で地域の方々にお披露目がされました。

神輿は、芯柱の修繕と共に、新たな装飾で輝きも増し、来年の巡回の準備が整えられました。



江戸時代から続く川村用水の堰さらい

毎年恒例の川村用水の堰さらいが、4月11日に越地・湯坂・南原の各自治会で行われました。川村用水は長く生活と農業に活用されてきたことから、山北・向原地区と一緒に堰さらいが続けられてきました。

川村用水の開削には理由がありました。皆瀬川は江戸時代中頃まで御殿場線沿いを流れしており、度重なる洪水に悩まされましたが、特に宝永の富士山大噴火の大洪水で、山北・向原地区は甚大な被害を受けました。

このため1709年（宝永6年）に、酒匂川への瀬替え（付け替え）が行われましたが、それが原因で水枯れが起これり飲み水にも困り果て、“命の水”の川村用水が作られました。その後江戸時代後期に、長く生活・農業用水に困っていた岸地区にも川村用水が延長（分水）され、この時から用水を護る取り組みが行われてきました。



安全な通行へ県道721号線が広がります

町都市整備課から岸連合自治会に、県道721号線（三菱ガス化学横）の拡幅整備が行われる、との説明がされました。

工事は県西土木事務所が、地権者の三菱ガス化学（株）の協力で敷地の提供を受け、道路拡幅の擁壁工事が8月下旬の完了予定で、実施されるとのことです。

この区間は、大型車が対面通行時に通過待ちせざるを得ない現状と、歩道幅の狭さも重なり、山北高校生の自転車通学なども心配されていました。

工事完成後は、現状の道路幅が5.5mから7.2mに拡幅される予定で、大幅な交通緩和と安全な通

行が期待されます。

また、来年度は、片側70cmの歩道が酒匂川側に付け替えられ、2mに拡幅される予定です。



賛助会員企業紹介①

各企業の皆様の取材へのご協力に感謝申し上げます。
文及び写真は広報部で編集しました。掲載は順不同です。

(有)武井精密

社長 原 幸衛さん

創業は1987年。武井暉前社長が測機舎内(松田町)で測量機械の専門修理を開業し、現在地に移転して会社組織となって今年30年を迎えます。

前社長が平成11年に、国際規格「ISO9002」を業界では県内初・全国で2番目に取得しました。

現在は同業者の廃業が相次ぎ、全国で唯一の業者となり、取引先に「再修理しないよう信頼関係に心掛けている」が、部品の調達が難しいです。

原さんは後継者への委譲を考えると共に、団子保存会会長として地域との繋がりも大切にされています。



〒238-0048 神奈川県横須賀市深川町2708
TEL 0465-75-0549 FAX 0465-78-4223

(有)石田木工所

社長 石田 実さん

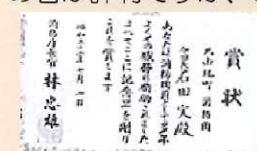
創業から112年、会社設立から48年を迎える木工製品の加工業で、以前は道具も手作りしていました。

営業は行わず全て受注で、注文に応じた物作りが評価され、取引先は北海道から沖縄までと幅広く、観光地でよく見かける土産品を生産しています。

材質が変わる前は、フィルムのスプール(木製芯)も作っていました。

現在は、工夫を重ねた寄木の箸が評判ですが、コロナ禍の影響を受けています。

今も物作りに励む姿勢は、消防庁長官表彰を受けた消防団の経験が支えになっているといいます。



(有)ウスイモータース

社長 白井 利一さん

大正15年に先々代が自転車販売を始めてから、5年後に百年を迎えます。

看板はスズキ車ですが、全メーカーの販売と修理を行っています。



コンピューターシステム診断を備えた丁寧な分解修理で、車検代行業とは違う安心で安全な点検を心掛けています。

地域密着の車屋として、地域に支えられていることの感謝を忘れず、信頼される仕事を続けたいとのことです。

県道での事故や防犯対策に、店頭と工場に防犯カメラを設置し、地域の安全も見守っています。

(有)原建材

社長 原 美苗さん

創業以来50年程に渡って、土木工事を始め砂利・砂残土の運送業に携わり、仕事の範囲は厚木から箱根・御殿場に至る広い範囲で行っています。

現在、社長を始め従業員一同、昨年若くして亡くなった前社長のモットーである「お客様に迷惑をかけない」ことを常に心がけて、信頼を築き上げるよう仕事を取り組んでいるというお話をました。



仕事で使用する、大型や4tダンプ・ユンボ等が十数台、原耕地の秋葉神社横と事務所前に並んで留めてありました。



(株)足柄防災(山北営業所)

社長 石田 邦男さん

山北町で唯一の防災専門業者として、平成16年に開業しました。消防設備士等の五つの有資格者12名が、消防設備の設計から管理、資材や装置、防災用品等の販売を行っています。

平成29年に有限会社から株式会社に移行し、現在は本社は松田に、山北の他に箱根、大磯、伊勢原、小田原、大和、平塚に営業所があります。

大切なひとを守る備え、
私たちにお任せ下さい。



長年の経験と知識により、安心で低コストな提案を行っており、地元でお困りの際は「何でも気軽にご相談ください」とのことです。

金子建設(株)

社長 金子 たゑ子さん

終戦の昭和20年、川崎から現在の居住地に移り住み、昭和25年から建設業を始め、昭和60年に金子建設(株)として事業の拡大を図りました。これまで県、町役場の仕事を主に、「地元の皆さんのお陰でここまでやってこられました」と話をしておられました。

冬季の除雪作業、小規模工事等を一手に行っているとのことです。

仕事を行う上での基本姿勢は、人任せはしない、必ず自分の目で確認し、納得のいく仕事を行うことで、人ととの信頼関係を築いていくことだそうです。



情報コーナー

～町では町民の方の健康づくりを支援しています♪～

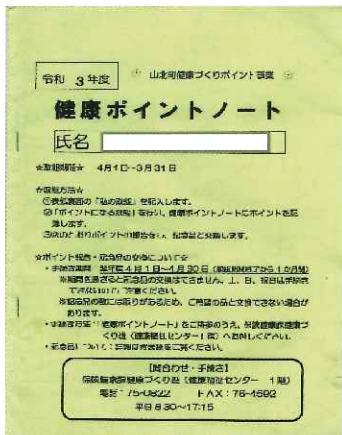


「健康づくりポイント事業」でポイントを貯めて健康と記念品をゲット!!



普段の運動や健康の取組みを健康づくりポイントノートに記録し、町に報告するだけ!

3月末までの合計ポイントによって町商品券やごみ袋などの記念品と交換できます。



健康ポイントノート

運動30分	運動60分	町施設利用	私の取組2つ以上実践
(例)30分ストレッチをした	(例)60分ウォーキングをした	(例)いきいきセンターでラジオ体操をした	(例)早寝早起きをして間食を控えた
1ポイント	2ポイント	2ポイント	1ポイント

【例えば】…

7月から3月まで月15日1日30分のストレッチすると…

1ポイント×15日×9か月=135ポイント獲得!!



100ポイントで町指定ごみ袋1袋(20枚入)と交換♪(記念品は他にもあります)運動に取組み、健康と記念品を手に入れましょう!!

★取り組もうと思われる方、詳しく知りたい方は
健康福祉センター（保健健康課健康づくり班）へ ☎ 75-0822

防災・減災メモ 命と暮らしを守るために

災害時は、自分と家族の安全、ご近所の安否確認が第一です。生活に欠かせない物は、その度に補充するように心がけましょう。



「3つの満タン」

- 1 風呂水は取り換える前まで捨てない
- 2 自家用車は走った分だけ給油する
 - ・スタンドが「震災対応SS」か? 確認する
- 3 携帯電話の充電を常に心がける
 - ・公衆電話の場所を確認しておく



阪神淡路と東日本大震災の記憶は、今でも生々しく思い出されます。この時の経験から、国の防災対策が見直され、様々な問題点と対処が示されました。その一つが「3つの満タン」です。

これまでの災害では、断水と停電の復旧に長時間かかりました。

断水では、飲料水と共にトイレの水に大変困りました。非常時用に井戸を見直す取り組みも進められています。

停電では、家電の固定電話が不通となり、携帯電話の充電切れなど、安否確認と連絡の手段が途絶え、公衆電話の活用が見直されました。また、ガソリンスタンドの給油が休止し、救援活動と移動に大きな影響がでました。国はこの教訓から、ガソリンスタンドに自家発電機の整備を進めています。

お知らせ・今後の日程

- 8月 7日(土) 岸地区納涼夏祭り大会(中止)
- 9月 5日(日) 防災訓練(予定)
- 10月 (未定) 岸地区敬老茶話会(予定)
- 10月17日(日) 統一美化キャンペーン(予定)
- ※コロナ禍により行事に変更の場合があります。

編集後記 新型コロナ禍により、日常生活を気遣う日々が続き、地域の行事も様々な制約を受けており、始まったワクチン接種による感染防止と終息が待たれます。

今号では、身近な道路拡張等に加え、賛助会員企業紹介と情報コーナーを設けました。3月に半数の広報部員が交代しましたが、今後も地域の情報発信に努めています。



保護者 佳之・怜さん (湯坂)
お兄ちゃんに
負けずに
元気に育ってね